

eco's 通信

2010
1月
vol.200

200号記念

『感動宣言』

おかげさまでエコス通信は二百号を迎えました。これを機に表紙頁はお客様や社員、さらには地域社会の感動話を掲載してまいります。弊社とお客様との間に生まれた「ちよつといい話」や「ふるえるような感動話」をお届けしていきたいと思います。

さて、毎月そんな素敵な話をお届けできるのか、少々不安ではありますが、思い切って「感動宣言」の公表です。



平素、当給油所事業にご尽力をいたして、誠にありがとうございます。
さて、先般吾郷代より、貴重なる書物のご提供をいただきました。
エコス通信を拜読させて頂いたとき、貴社社員が
本に感動したとありました。
当給油所スタッフも、自分を含め前進したいと奮起を
する中で、今後先々よりしくお願ひ申し上げます。敬白
道中、ご苦労大変存じました。

例えばこんなお話しです。

あるお客様から大変うれしいお便りをいただきました。

当社では、社員教育の一環として、毎月1冊本を読んで、感想文を提出しています。本誌でも社員の感想文を紹介しています。それをお読みになったお客様が会社でも実践したい旨を弊社吾郷社員が聞き、社員所蔵の本をお貸ししたのです。お客様は、読書による社員教育に賛同され、全社的に広めていきたいお考えです。その思いに、吾郷社員の行動が手助けするところとなり、お客様に大変、喜んでいただきました。

吾郷社員曰く、「他で有効に使っていただけて、大変うれしい。本も泣いて喜んでいきます。また、自分たちがやっていることが認められたこともうれしい。」

青戸所長様曰く、「サービス業に身をおくものは、お客様との会話で、書物から知識を得て、話を発展させることが大事です。また、本を読んで考える力を身につけたいと思います。吾郷さんからお借りした本を2～3人は読んでいます。自主的に吸収しようというところから取り組んでいきます。書物を通して、その助けをかりながら、自分を変えていけたらと思います。11冊では足りないわというようになればかなりの進歩です。まずはここで取り組み、ひいては全社的に取り組んでいきたい。」

山陰興業の取り組みがヒントになり、社員に読書を勧める青戸所長様。それが役立てば、こんなにうれしいことはありません。

自分たちが地道に取り組んできたことが外部の人に認められ、体が震えるような感動を覚えました。
(長野)

Vol.102 (2001年11月)
弊誌タイトル「ECO'S通信」に決定
ECOはecology(環境保護)から、Sは山陰興業の頭文字と複数(皆がいろんなことにかかわってもらいたい)の意味で、社員が命名した。



Vol.105 (2002年2月)
松江営業所ISO14001認証取得
1月25日、認証を取得した。ストロングポイント2つもいただいた。ISO9001は、2000年3月出雲本社で取得済。



Vol.125 (2003年10月)
山陰興業も国際化...
中国より廃油タンク輸入大連より貨物船に乗って、境港へ廃油タンクが到着。



Vol.128 (2004年1月)
第1回(31期)事業発展計画発表会を12月16日に開催した。
創業以来はじめて、山根社長の事業発展計画書ができた。お客様に対する考え方、あらゆるサービスの姿勢、心、信念する経営思想をまとめた。



Vol.134 (2004年7月) (全農エネルギー(株)東海石油基地(愛知県蒲郡市)タンク他残油回収工事施工
「山陰興業さんは、段取りがいい、チームワークが抜群!!」
当社は先輩から受け継いだ技術と経験がある。皆で力を合わせ無事に完工させる自信がある。



祝 200号



Vol.195 (2009年8月)
工場の安全指導会始まる
日々の安全作業の基本は5S。もっともっと安全な工場を目指します。



Vol.185 (2008年10月)
未来塾の開催
先輩達が築いてきた財産(お客様、習得した技術・サービス・仕事に対する情熱)を次の世代に伝承し、地域のお客様のお役に立ち、私たちと地域の明るい未来をつくる。



2008年10月
神西小生徒さんの写生大会

Vol.181 (2008年6月)
外部の力をもっと活用し内部をもっと強くしよう
平成17年より、様々な専門分野の顧問の方々から、時には厳しく、時には時間を掛けて判りやすく指導を受けています。社員が夢と誇りを持って働ける、健全な企業運営のために必要な様々なしくみを学び、更なる進化を遂げていきます。



Vol.172 (2007年9月)
出雲工場見学会
私たちのやっていることを地元の方々に理解していただくために開催した。「とてもきれいなのでびっくりした」と、設備等を興味をもって見て頂いた。



Vol.167 (2007年4月)
新ボイラー 火入れ式
山陰興業創業以来、30年使用したボイラーの後継機として購入。再生油焚き仕様。



Vol.162 (2006年11月)
地域と共に～出雲養護学校から職場体験生受け入れ、2009年4月入社
仕事の基本は、挨拶と掃除。私たちも「初心に戻る」ことの大切さを学びました。



Vol.143 (2005年4月)
家族ふれあい会の開催
家族の皆さんには、安全、環境に関心を持たれ、家庭内でも子どもさんに教えてあげてください。また私たちは子供たちの思いを胸に、安全運転をお約束します。



お客様からお祝いのお言葉をいただきました。

山陰興業の皆様とは二十年間のお付き合いになりますが、いつまでも変わらないものは「常に熱心である」ということであり、当社としても心強い限りです。エコス通信は、まさにその一端を担っており、この文化が脈々と引き継がれることを心から楽しみにしております。

(東西オイルターミナル(株) 井田様)

通信誌を通じて、お客様また地域社会へのコミュニケーションは最高です。内容も現場重視で大変参考になり、毎回楽しみにしています。

(山陰石油(株) 川端様)

山陰興業様の取り組み、他企業様の取り組み、考え方を参考にし、弊社の拠点運営がより良くなるための1つのツールとして、エコス通信は毎月楽しみに拝読させていただきます。

(ホンダカーズ島根東 黒田店 金津様)

無料の本や冊子ほど読まないものはありません。そこが編集長の腕の見せ処です。為になる話・伝えたいこと・啓発記事等うまく配置されています。特に季節の花々の写真は隠された努力の華でしょう。

(島根電工(株) 陶山様)

PR(パブリック・リレーション)、公・世間との関係」という本来の使命が、紙面にうまく表現されている。だからこそ二百号も続く訳である。このことは社長のサポートのもと、長野さんという編集氏の力量であり、心からの拍手喝采であるが、月刊の二百号は山陰興業という企業の通史であるばかりか、同時に十六年間の産業史として後世に残る快挙でもある。

(風流堂 内藤様)

発刊依頼、毎月の取材・編集のご苦勞に敬意を表します。毎月、楽しみに拝読させていただいておりまして、参考にさせていただいています。

(城東化成(株) 福島様)

何よりの驚きは途切れることなく続いたことです。それこそが山陰興業の“力”です。

(島根日野自動車(株) 三原様)

社員の皆様が会社に誇りを持ち、一方で顧客に対し新鮮な会社情報を公開できる、優れたセールスマンの役割を果たして余りあると思います。何より素晴らしいのは編集者のハートだとわかるのは、毎号の紙面が「生きている」からです。

(環境開発工業(株) 山田様)

(順不同)

今月の改善

配管とタンクに表示をしました

配管とタンクに内容物とその流れの方向を表示しました。今までは、製造担当者しか把握していなかったのですが、誰が見てもわかるようにしました。万が一、流出等の事故が起こったとき、内容物の流れる方向がわかるので、事故発見者が処置をし、被害を最小限にすることが出来ます。

今後において、原料と再生燃料油、廃水と浄水、ボイラー用蒸気配管と蒸気のドレン回収配管等の区別がつくように配管に色つきの帯を巻いて、識別できるようにしていきます。
(木村)



『群言堂の根のある暮らし』を読んで

世界遺産・石見銀山のある大森町から全国展開している衣料品と雑貨の店がある。時代をタイムスリップしたかのような田舎から情報を全国へ発信しているのだ。群言堂の商品が東京のデパートでも販売されているのです。古いしつらいの店が大森町の町並みにしっかりと調和している。時間の経つのを忘れて、ゆっくり店内で過ごしたい気持ちにしてくれる。

幸いなことに、店奥にすてきなカフェがあるのだ。群言堂で使われている椅子やテーブルはほとんどが廃材を再利用して作られたものだそう。それらがとても素敵に再生されているのに驚く。とてもシックで、使いこなされた感がして、温かみを感じる。店内のものの全てが、大森町に調和している。大森町をこよなく愛する、オーナーである松田夫妻の思いがたくさん詰まったお店だ。石見銀山へ行く機会があれば、是非寄ってみたい。

群言堂のある大森町で、日本の原風景を見ることができると思う。
(長野)



一斉清掃

「継続は力なり」といいますが、身の回りの小さな平凡なことでも、継続すると大きな力になります。継続する秘訣は、常に工夫改善することだと説いています。そのうえで、コツコツ努力する以外にありません。どんな仕事も地道な作業を積み重ねることによって成しえるものです。ひとつひとつの作業に手を抜かないことだと思います。
(長野)



蛍光灯が汚れていなくてピツクリ！昔と比べると、事務所内はきれいになりました。

元氣の出る言葉

中村天風師

おいと呼ぶにも笑顔
はいと返事するにも笑顔

(「君に成功を贈る」より、日本経営合理化協会刊)

笑いというものは、健康にも運命にも非常に大きな効果があると言ったことだ。
笑顔でいると、怒りや悲観することなどないのではないか。自然と前向きに物事を楽しく考えられるようになる。
笑いによって、人生の幸福と幸運がどんどん開けてくるようになる。
(長野)



「冬いちご」野生の果実は天然の味がします

社長が薦める今月の一冊

君に成功を贈る

中村天風述

日本経営合理化協会出版局刊



《 敵は愛すべきもんだぜ。敵があつてはじめて自分の価値が定まるんだから。 P 190 ~ 》

ここでは、自分の前に現れるさまざまな障害は、それが心の障害であっても、物の障害であっても、自分の価値を正しく認識する貴重なものであると説いています。例えば文中に、宮本武蔵が強い剣客と言われたのも、佐々木小次郎という強い相手がいたからである。相対するものがいたからこそ、宮本武蔵自身の価値を客観的に定めることができるというのです。

「敵」を「壁」と考えたときに、その心の壁、さまざまな障害は、自分だから、自分の力で越えられるから与えられたと考えれば、容易ではなくても、越えられる障害と認識できる。そして大切なことは、その障害を越えたときに、その障害を次には容易に越えられるだけの実力を、価値を、自分がしっかりと獲得したことになります。

この本は毎年1月の指定図書です。社員が、少なくとも毎年1回読んでくれて、一人でも多くの社員が、日々出会う障害を越え、積極心をもって自分の価値を高め、自分で、自分の幸せをつかんでくれると確信しています。(山根)

編集後記

200号を振り返って、今まで協力してくださった社内外の皆様には感謝申し上げます。

「継続は力なり」といいますが、まさにそのことを身をもって感じております。こつこつと地道な積み重ねが200号にも達し、これからさらに「進化」しなければと思います。

また、中国のことわざで、「十年偉大なり、二十年畏るべし、三十年歴史になる」というのがあります。山陰興業の歴史に残るようなものにしていきたいと思ひます。

今後も精進してまいります。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。(長野)

発行日：毎月10日

発行：690-0025 島根県松江市八幡町796-20

TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472

エコス
山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長野

E-mail :h.nagano@e-skk.co.jp

印刷：授産センターよつば

ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)

ちょっといい話 №5

『安全講習で注意喚起』

毎月、河上部長を講師に安全講習が行われています。第3土曜日は、わざわざ松江まで来てもらっているのに、出席しないのは失礼だと思っています。

講習のなかで、いろいろな話をしてくれるので、初心に返るところもあります。月に1回、安全講習を受けることによって、自分自身に注意を喚起する意義があります。定期的に受講し、気をつけようという気持ちになります。また、忘れていたことを思い出すこともあります。

何をおいても安全第一と考えます。

事故を起こすと、自分自身の問題ではなくなり、みんなに迷惑がかかってしまいます。

「事故は絶対に起こさない！」と自分が自分を叱咤激励し、生かしていきたいと思ひます。(横地)

蔵書新着状況

- ・『自動車新世紀勝者の条件』 日本経済新聞社
- ・『リッツ・カールトンで学んだ 仕事でいちばん大事なこと』 林田正光 あさ出版
- ・『幸せのステップ 8つのキーワード』 奥迫哲也 主婦と生活社
- ・『マンガ 中村天風』 1 木村直巳 講談社
- ・『「ランチェスター経営」であなただの会社が強くなる』 竹田陽一 サマーク出版
- ・『ロウソクの科学』 ファラデー 角川文庫
- ・『ホーランエンヤ 感動記録集』 山陰中央新報社

今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で1名様に賞品を差し上げます。今月の賞品は、新春の和菓子です。締切は1月末です。奮ってご応募ください。



Q：本紙のタイトルがエコス通信になったのは、何号からでしょうか？

先月号の答えは「1993年6月」でした。残念ながら正解者はありませんでした。

応募用紙(答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

原稿を公募します 本誌の原稿を公募します。800字～1000字程度で、身近な出来事をテーマにしたものを希望します。随時受け付けます。内容により不採用の場合はお許しください。編集部あて、どんどんお寄せ下さい。薄謝を差し上げます。